

変遷の時期	変遷の内容
昭和23年 2月	旧葦崎町、穂坂村、藤井村、清哲村、神山村、旭村、大草村、竜岡村の1町7ヶ村で国民健康保険直営峡北組合病院として設立。病床数26床（一般21・伝染5） 診療科目：内科・外科・産婦人科 職員数20人 組合長 葦崎町長小野弥一郎 院長 武藤五郎
昭和24年 7月	新院長に菅沼三郎就任
昭和26年 4月	組合長に葦崎町長浅川彦六就任
昭和26年12月	伝染病棟を新築17床 総病床数50床（一般33・伝染17）職員数22人
昭和29年 9月	結核病棟を新築32床 総病床数82床となる。
昭和29年10月	町村合併（1町10ヶ村）により葦崎市となり、合併条件協議書9-1に基づき葦崎市国民健康保険直営葦崎市立病院と改称する。 総病床数82床（一般33・結核32・伝染17）職員数38人となる。
昭和29年11月	開設者に浅川彦六市長就任
昭和30年 6月	名古屋大学医学部より医師を招へいし医局の陣容を整える。院長 上原良雄
昭和32年 6月	耳鼻咽喉科を開設する。
昭和33年 3月	病棟を改築、一般30床、結核18床を増床する。 総病床数130床（一般63・結核50・伝染17）職員数47人となる。 診療科目 内科・外科・産婦人科・耳鼻咽喉科
昭和34年 7月	新院長に山田栄士郎就任
昭和35年 9月	葦崎市国民健康保険葦崎市立病院と改称する。
昭和37年11月	開設者に横内要市長就任
昭和36年 9月	管理病棟改築を鉄筋2階建に改築、一般32床を増床する。 総病床数162床（一般95・結核50・伝染17）職員数52人となる。
昭和39年 1月	基準給食、基準看護、基準寝具の適用を受ける。
昭和40年 8月	日本大学医学部から医師を招へいし、医局の陣容を整える。 院長に浅沼弘一就任
昭和40年10月	小児科を開設 職員数73人となる。
昭和41年 7月	医師住宅を建設（コンクリートブロック2階建 525.93㎡）8戸分
昭和43年 3月	看護婦宿舎を建設（鉄筋コンクリートラーメン構造2階建23人収容） 院内暖房施設、患者用風呂場並びに特別室を新設する。 職員数84人となる。
昭和44年 4月	病院北隣接地に 3,168.20㎡の用地を取得する。
昭和45年 7月	院内改造並びに補修工事を施行する。

変遷の時期	変遷の内容
昭和46年 1月	伝染病床を3床増床、総病床数165床（一般95・結核50・伝染20）となる
昭和46年10月	診療管理棟を建設（鉄筋コンクリート3階建 1,995.34㎡） 一般40床増床、病床数205床（一般135・結核50・伝染20）
昭和46年11月	診療管理棟の使用許可を受ける。
昭和48年 3月	厨房改修工事を施行する。
昭和49年 8月	職員住宅を建設（鉄筋コンクリート3階建 110.18㎡）6戸分
昭和52年 3月	眼科用医療機器を整備する。
昭和53年11月	開設者に内藤登市長就任
昭和55年 6月	基準看護を引上げ（一般）1類→特1類・（結核）2類→1類とする。
昭和56年 7月	基準看護を引上げ、特1類→特2類とする。
昭和56年12月	病棟を改築（鉄筋コンクリート6階建6,400㎡）185床（一般135・結核50）
昭和57年 5月	医師住宅を建設（鉄筋コンクリート2階建 267,28㎡）4戸分
昭和57年12月	基準寝具設備（病衣貸与）の承認を受ける。
昭和58年 9月	一般20床増床、総病床数225床（一般155・結核50・伝染20）とする。
昭和61年 4月	一般31床増床、総病床数256床（一般186・結核50・伝染20）とする。
昭和62年 8月	職員駐車場用地として、宅地1,580.72㎡を取得する。
平成 2年 3月	医事コンピューターを導入する。
平成 4年 3月	全身用CTを導入する。
平成 5年 3月	MRI（磁気共鳴断層診断装置）を導入する。
平成 5年 4月	現山梨大学より医師を招へいし、医局の陣容を整える。 整形外科を開設する。 院長に松川哲之助就任
平成 5年 6月	小児科を開設する。
平成 5年10月	眼科を開設する。アルゴンダイレーダーを導入する。
平成 6年11月	診療管理棟を増築（鉄骨造 269.7㎡）
平成 6年11月	開設者に秋山幸一市長就任
平成 7年 3月	一般22床増床、結核38床減床し、 総病床数 240床（一般208・結核12・伝染20）とする。
平成 7年 7月	療養型病床群病棟（22床）がスタートする。
平成 8年 5月	基準看護→新看護となり、特2類→2.5:1（B）13:1となる。
平成 8年 6月	県よりHIV拠点病院に選定される。

変遷の時期	変遷の内容
平成 8年 7月	泌尿器科を新設する。
平成 8年 7月	小児科医師の2人体制に拡充する。
平成 8年11月	県より地域災害拠点病院に指定される。
平成 9年10月	山梨医科大学と医療情報コンピューターネットワークを構築する。
平成10年 2月	創立50周年を迎える。
平成10年10月	多目的X線デジタル画像診断装置を導入する。
平成10年11月	開設者に小野修一市長就任
平成11年 3月	医薬分業に伴う外来患者の院外処方箋の発行開始。 (3～7月年齢区分し段階的に実施)
平成11年10月	伝染病棟20床を廃止、結核12床を療養型病床群に転換(計34床) 総病床数 220床となる。(8月31日付許可)
平成11年11月	医事コンピューターを更新。
平成12年 4月	療養型病床群34床のうち16床を介護療養型医療施設とする 総病床数 220床(3月13日付許可・4月1日より使用開始)
平成12年 5月	正看護婦比率70%以上届出 入院一般病棟 I 郡入院基本料2 完全適用となる。
平成12年 9月	最新型ヘリカルX線CT装置を導入する。
平成12年11月	一般病棟看護補助15:1→10:1 療養病棟入院基本料1 看護5:1 補助4:1となる。
平成13年 3月	骨塩定量装置を導入し、骨ドックを開始する。
平成13年 7月	腹腔鏡下手術システムを導入する。
平成14年 3月	医師宿舎、看護宿舎を解体し、外来者駐車場の拡張をおこなう
平成14年 9月	昇降式X線透視撮影装置を導入する。 超音波白内障手術装置を導入する。
平成15年 2月	泌尿器科の超音波画像診断装置を更新する。
平成15年 3月	療養病床34床のうち、介護療養病床を16床から24床とする。
平成15年 3月	新サービス棟を改築(RC3階・1,205.18㎡)
平成15年 4月	病床区分の届出により、一般病床を20床減床し、総病床数200床とする。 (一般166床・療養34床)
平成15年 5月	SARS 初期診療医療機関となる。
平成15年 6月	ふれあいの箱(投書箱)を設置する。
平成15年 9月	人工呼吸器を更新する。 自動視野計(眼科)を更新する。

変遷の時期	変遷の内容
平成15年10月	検査室の生化学自動分析装置を更新する。
平成16年 2月	除細動器を更新する。
平成16年 2月	調剤支援・監査システムを更新する。
平成16年 3月	診療棟竣工（RC 2階・939.54㎡）
平成16年 5月	ビデオ内視鏡システム、眼科用マルチカラーレーザー光凝固装置を導入する
平成16年10月	MR I 棟起工（RC 1階・98.70㎡）
平成16年10月	市立病院駐車場舗装整備工事完了
平成16年11月	眼科用ヤグレーザー装置の導入する。
平成17年 3月	MR I 棟竣工
平成17年 3月	MR I 機器・マンモグラフィー装置・エコー装置を導入する
平成17年 3月	脳神経外科の標榜を条例化する
平成17年 4月	脳神経外科の常設
平成17年 5月	CR REGIUSシステム（レントゲンデジタル画像装置）購入する。
平成18年 1月	院長に小森貞嘉就任
平成18年 3月	上部消化管内視鏡・監視モニター・ホルター心電計システム・関節鏡の導入する。
平成18年 3月	病棟3～5階トイレ改修工事等の竣工
平成18年 4月	事務局長に中村徹就任
平成18年 4月	松川哲之助前院長に名誉院長の称号を付与する。
平成18年11月	大腸ビデオスコープ購入する。
平成18年11月	開設者に横内公明市長就任
平成19年 1月	循環器対応超音波診断装置購入する。
平成19年 3月	病棟2階他トイレ改修工事の竣工
平成19年 7月	散薬調剤機更新（MRN-1000C 購入）する。
平成19年 7月	旧手術室を医師当直室に改修（2室）する。

変遷の時期	変遷の内容
平成19年10月	臨床検査室 多項目自動血球分析装置・全自動グリコヘモグロビン測定装置更新する。
平成19年10月	3 モーター電動ベッド（20台）購入する。
平成19年12月	療養介護型病床34床のうち、医療保険適用病床を10床から14床に、介護保険適用病床を24床から20床とする。
平成19年12月	病棟回診用X線装置（インバーターコードレス移動型一式）購入する。
平成20年 1月	看護体制10:1届出に伴い、2階病棟と3階病棟を1病棟と見なすため2階を18床休床とし、2階13床・3階47床の60床とする。ただし承認病床は166床のまま。
平成20年 2月	超音波画像診断装置（眼科用）購入する。
平成20年 3月	1階薬局を2階元事務室へ移転する。（薬事事務効率化のため）
平成20年 5月	全自動錠剤分包機購入（老朽更新）する。
平成20年 6月	2階事務室を1階元薬局へ移転する。（事務効率化のため）
平成20年 6月	安全キャビネット・クリーンベンチ購入する。（薬局用）
平成20年 6月	健康診断システム導入する。
平成20年 6月	既存臨床検査システム改造及び自動採血管準備システム導入する。 （健康診断システムとの連携に係る改造等）
平成20年 7月	多機能心電計一式購入する。
平成20年 8月	高周波手術装置一式（内視鏡用）購入する。
平成20年 9月	3 モーター電動ベッド（20）台購入する。
平成20年12月	オーダリングシステム導入する。（院内LAN、検査機器、薬局機器改造等一式） 平成21年2月本稼動
平成21年 1月	酸化エチレンガスカートリッジ式滅菌装置購入する。
平成21年 2月	十二指腸ビデオスコープ（内科）購入する。
平成21年 2月	散瞳・無散瞳一体型眼底カメラ（眼科）購入する。
平成21年 2月	人工呼吸器及び附属機器一式（新型インフルエンザ補助金）購入する。
平成21年 3月	陽圧式人工呼吸器一式購入する。
平成21年 3月	内視鏡ファイリングシステム導入する。
平成21年 3月	遠隔画像転送システム導入する。
平成21年 3月	レセプト電算システム導入する。

変遷の時期	変遷の内容
平成21年 3月	蕪崎市立病院経営健全化計画を策定・公表
平成21年 4月	COREシステム電動式骨手術装置一式（整形外科用）購入する。
平成21年 5月	カルテ管理システムキララエレブ（カルテラック追加）購入する。
平成21年 5月	細菌検査システム導入する。
平成21年 8月	脳波計一式購入する。
平成21年10月	オートレフケラトメーター（眼科視力計）購入する。
平成21年10月	血管アクセス用超音波診断装置一式購入する。
平成21年10月	病棟2階閉鎖に伴い、3階・4階一部改修する。
平成21年10月	自動火災報知・非常用放送設備機器取替する。
平成21年11月	一般病床166床から141床へ削減届出（山梨県 改修許可申請及び使用許可） 関東信越厚生局は（12月1日付け）
平成21年11月	3モーター電動ベッド（20）台購入する。
平成21年12月	オーダーリングシステムを拡張する。（検査・レントゲン等指示オーダー追加、画像配信システム導入）平成22年2月本稼動
平成22年 1月	解析付心電計・ベッドサイドモニター一式購入（第一救急室）
平成22年 1月	T-MAXビーチ・チェアー（整形外科・肩手術用椅子）
平成22年 3月	蕪崎市立病院経営健全化計画点検・評価内容公表
平成22年 4月	副院長に 鈴木 修医師（外科）・三澤明彦医師（内科）・千野良子（看護部長兼務）就任
平成22年 5月	療養介護型病床34床のうち、医療保険適用病床を14床から18床に、介護保険適用病床を20床から16床とする。
平成22年 7月	上部消化管ビデオスコープ一式購入する。
平成22年 7月	バッテリーパワーシステム システム6（整形外科用ドリル）購入する。
平成22年 7月	生体情報モニター（病棟3階・4階用）一式購入する。
平成22年 7月	3モーター電動ベッド（20）台購入する。
平成22年 8月	外科用X線テレビシステム一式購入する。
平成22年11月	病棟3階・4階西側病室等改修工事完成する。
平成22年11月	病棟3階・4階医療ガス増設工事完成する。

変遷の時期	変遷の内容
平成22年12月	看護必要度計算評価システム導入する。
平成22年12月	スーパーライザーPX（近赤外線治療器・リハビリテーション科）購入する。
平成23年 3月	診療棟カルテ庫増設工事完成する。
平成23年 3月	カルテ用ラック（5連複式稼動棚）3台購入する。
平成23年 3月	医療相談室を病棟2階へ移転する。
平成23年 4月	麻酔科を開設する。（麻酔科医師1名採用）
平成23年 4月	院内保育所を開設する。（夜間保育のみ・運営は民間事業者に委託）
平成23年 5月	病棟1階リハビリ室・内視鏡室改修工事完成する。
平成23年 9月	病児・病後児保育施設設置する。（開設・運営は韮崎市）
平成23年 9月	人工呼吸器（ベネットベンチレーター840）購入する。
平成23年 10月	3モーター電動ベッド（20）台購入する。
平成23年 10月	マルチスライスCT64Ch購入する。（更新）
平成23年 11月	眼科用CT一式購入する。
平成23年 11月	ビデオ内視鏡システム一式購入する。
平成23年 11月	超音波凝固切開装置一式購入する。
平成23年 11月	病棟5階・6階医療ガス増設工事完成する。
平成23年 12月	診療棟3階、病棟5階・6階西側病室等改修工事完成する。
平成23年 12月	非常用放送設備増設工事完成する。
平成24年 3月	財務会計システム一式購入する。
平成24年 3月	3モーター電動ベッド（5）台購入する。
平成24年 3月	診療棟エレベーター改修工事完成する。
平成24年 3月	衛星電話設備改修工事完成する。
平成24年 4月	人工呼吸器（ベネットベンチレーター840・レスピロニクスV60）購入
平成24年 6月	超音波診断装置（アプリオ400）購入する。

変遷の時期	変遷の内容
平成24年 6月	3モーター電動ベッド（20）台購入する。
平成24年 6月	全身麻酔器（エスパイア VIEW）一式購入する。
平成24年 7月	腹腔鏡手術システム（VISERA ELITE）一式購入する。
平成24年 7月	部科長制を導入する（整形外科及び脳神経外科）
平成24年 12月	病棟エレベーター改修工事完成する。
平成24年 12月	外壁等改修工事完成する。
平成24年 12月	超音波診断装置（LOGIQ e Expert）一式購入する。
平成25年 3月	大腸ビデオスコープ（EVIS LUCERA）一式購入する。
平成25年 4月	人工呼吸器（ベネットベンチレーター840）一式購入する。
平成25年 4月	汎用手術台（整形外科対応）一式購入する。
平成25年 5月	3モーター電動ベッド（20）台購入する。
平成25年 6月	全身麻酔器（エスパイア View Pro）一式購入する。
平成25年 8月	一般X線撮影装置一式購入（更新）する。
平成25年 8月	臥位撮影台一式購入（更新）する。
平成25年 8月	駐車場舗装補修工事完成する。
平成25年 10月	高圧蒸気滅菌装置1台購入（更新）する。
平成26年 1月	人工呼吸器（ベネットベンチレーター840）一式購入する。
平成26年 2月	3モーター電動ベッド（19）台購入する。
平成26年 2月	災害用緊急車両（DMAT併用車両）購入する。
平成26年 3月	人工呼吸器（Trilogy02）一式購入する。
平成26年 3月	災害用医療テント・備蓄セット一式購入する。
平成26年 4月	院長に東田耕輔就任
平成26年 4月	事務局長に相川勝則就任
平成26年 4月	小森貞嘉前院長に名誉院長の称号を付与する。

変遷の時期	変遷の内容
平成26年 5月	ノンコンタクトトノメーター一式購入する。(更新)
平成26年 6月	超音波凝固切開装置一式購入する。
平成26年 8月	セントラルモニタ (病棟6階用) 一式購入する。
平成26年 10月	事務局長に中嶋尚夫就任
平成26年 10月	検体検査システム一式購入する。(更新)
平成26年 11月	診断書作成システム (MEDI-Papyrus) 一式購入する。
平成26年 11月	開設者に内藤久夫市長就任
平成27年 3月	医用画像診断システムサーバー一式購入する。(更新)
平成27年 3月	内視鏡手術画像記録装置一式購入する。
平成27年 4月	事務局長に内藤明彦就任
平成27年 4月	超音波白内障手術装置一式購入する。(更新)
平成27年 5月	医用画像診断システムサーバー一式購入する。(更新)
平成27年 7月	血液ガス分析装置一式購入する。(更新)
平成28年 3月	自動分析装置一式購入する。(更新)
平成28年 9月	多目的デジタルX線テレビシステム一式購入する。(更新)
平成28年 9月	骨密度測定機能付X線テレビシステム一式購入する。(更新)
平成28年 10月	電子カルテを導入する。オーダーリングシステムを更新する。